

## 第18回 行政改革推進本部会議

### 出席者

- ・市長 ・助役 ・収入役 ・教育長 ・総務部長 ・企画部長 ・市民部長 ・観光商工部長
- ・農林振興部長 ・健康福祉環境部長 ・都市建設部長 ・上下水道部長 ・教育次長
- ・萩原振興事務所長 ・小坂振興事務所長 ・下呂振興事務所長 ・金山振興事務所長
- ・馬瀬振興事務所長 ・病院事務長(欠) ・消防長 ・議会事務局長(中丸主幹代理)
- ・総務課長 ・秘書広報課長
- ・行政改革推進室長 ・今井 ・野村

### 会議メモ

1. 本部長(市長)あいさつ
  - ・ことし最初の顔合わせである。この一年よろしく願いたい。
  - ・年末から年始にかけ体調を崩し迷惑をかけたことは遺憾であった。今後は体調管理に気をつけたい。
2. 協議報告事項
  - (1) 行政改革推進本部(各課)の取り組み状況について
    - 【会計室】財務会計システムの改善
      - 小さなことかもしれないが、改善は必要である。今後も地道に取り組んで欲しい。
    - 【総務部】市で所有する携帯電話の契約見直しにより基本料が月額18千円の削減が見込まれる。
      - 小さな削減であるが、長い目で見れば大きな効果となる。ちりも積もれば山となる。
    - 【議会事務局】前回協議事項の報告その他
    - 【企画部】植樹祭花飾りを目的に、市内の全ての5,6年生に木製プランターを作成してもらっている。現在、企画部総動員で対応している。
    - 【市民部】今後の行事予定と取り組み
      - ・市県民税申告事務は、旧下呂の支所での受付は中止。受付は庁舎、振興事務所のみ。
      - ・萩原、下呂庁舎では期間中の日曜日は全日受付する。
      - ・小坂、金山、馬瀬は、3月5日(日)のみ全日受付する。
      - ・年度末、年度始めには窓口延長する。(3月27日~4月6日)
        - 平日午後7時まで、土日(4月1日、2日)は午前8時30分~午後5時15分まで
      - ・4月1日から、住民票関係書類の電話事前予約による発行を始める。
        - 新たな取り組みであり、これこそ改革である。他の部局でも同様の取り組みをお願いしたい。
    - 【観光商工部】春、夏の観光シーズンに向け、観光協会等と協力して大手旅行業者に情報提供と誘客を働きかける予定である。
    - 【都市建設部長】前回協議事項の報告その他
    - 【上下水道部】年末年始の水道施設の見回りを徹底するとともに、夜間は安全のため複数で行動するよう指示した。寒波にともない、深夜早朝の水道施設管理が必要となった。アウトソーシングにも反映させなければならない。
    - 【健康福祉環境部】平成20年度が目処となる国の医療制度改革に備え、市の体制整備を図るため、医師会代表2名と健康福祉環境部による「下呂市保健医療検討会議」を組織し検討を始めた。
    - 【農林振興部】前回協議事項の報告その他
    - 【教育委員会】位山自然の家の管理運営業務を4月1日から山之口区が中心となる管理運営母体に任せることになる。これにより職員1名を引き上げることが可能となる。最初から全て任せるのではなく、できることから段階的に任せていく。いずれは指定管理者制度を適用したい。
      - 職員が減る中で、アウトソーシングによる施設管理委託というのは良い方向である。各分

野において、積極的に取り組んで欲しい。

【萩原振興事務所】電話対応研修を全ての職員が受講するよう、明日26日に再度、研修を開催する予定である。

【小坂振興事務所】1月の接客サービス向上目標を「明るさ清潔感に気を配り好感を与えるみだしなみ」と定め、改善に努めている。

振興事務所等出先機関において接遇の向上に積極的に取り組んでいただいている。市民の目につく印象を考え今後もがんばっていただきたい。

【下呂振興事務所】前回協議事項の報告その他

【金山振興事務所】馬瀬振興事務所では、同報無線の電池交換を周知するなど管理を徹底していたことが、12月豪雪の停電時においてもスムーズな情報伝達が可能であり、大きな混乱を引き起こすことはなかった。当地域でも参考とし、全世帯に対して電池交換を呼びかけ、災害の備えとした。

日頃のちょっとしたことが、災害時に大きな成果となり現れてくる。

【馬瀬振興事務所】前回協議事項の報告その他

【消防本部】「ヒヤリハット対策検討表」を勤務時間外の自らの運転にも運用し、ヒヤリ、ハットした体験をネット上に公開し、自らの安全対策に活かすこととした。

下呂市少子化対策のアイデア募集に対して、積極的な提案を求め、担当課に意見を上げた。

職員のアイデアを募り良いものをどんどん実行していくことが改革であり改善である。今後も職員のアイデアを生かしていくのでよろしく願います。

## (2) 下呂市行政改革の進捗状況について

資料に基づき行革推進室担当から説明

## (3) 集中改革プランについて

資料に基づき行革推進室担当から説明

- ・H17.3.29 に総務省から「地方公共団体における行政改革のための新たな指針の策定について」として通知され、行政改革の取り組みを具体化し、その公表を求められています。(集中改革プランの策定)
- ・当市では、行政改革実施計画を集中改革プランとして公表を予定しています。
- ・来年度交付税算定に、行革の進み具合が、インセンティブ枠として加算される。また、アウトソーシングが進んだとの前程で減額の部分もある。交付税の面からも、国が地方の行革に本腰を入れてきたといえる。
- ・行政改革の具体的な手法としてアウトソーシングが第一にあげられており、聖域なく検討することが求められています。
- ・集中改革プラン(実施計画)は今年度末にHPに公開し、今後は年度ごとに実績とともに公開していきます。
- ・実績には、削減額(数)としての具体的な数値が求められています。(事務事業の合理化により、万円削減できた。等)
- ・公営企業についても同様に経営総点検、中長期計画の策定、業績評価等が求められています。

## (4) 下呂市組織改革について

助役より

- ・行政改革に関する指示命令が速やかに伝わるよう行政改革推進室を行政改革推進課に
- ・健康福祉環境部から環境部を切り離し、健康と福祉専門の部である健康福祉部に
- ・介護保険制度の改正に対応するため地域包括支援室を設置
- ・農林振興部を農林部に改称し、農林振興課、農林事業課を、農務課、林務課、畜産振興室に再編。畜産振興室には、飛騨農業共済事務組合に派遣されている獣医3名を配置する。
- ・上下水道部に環境課を統合し、水道環境部に
- ・業務課、経理課を市民にわかりやすい水道事業課と水道料金課に名称変更
- ・振興事務所は管理課と市民生活課を統合し市民生活課に、基盤整備課と農林課を統合し振興課に

- ・通信指令課を通信司令室として消防総務課に含める。
- ・金山病院事務局に事務課を設置し、機能強化を図る
- ・飛騨農業共済事務組合、下呂市社会福祉協議会へ派遣している職員のうち5名を引き上げる。
- ・ゆったり館は直営から指定管理者による管理に移行するため、4名の配属が無くなる。
- ・特命担当理事、担当参事の職務については10を予定しているが、流動的である。

市長より

行革というものの趣旨を酌んで、部長さんの中で何名かの方が、自ら辞されるという意思を表明されておられる状況も今、出てきております。この趣旨を酌んでいただいていることに大変、感謝と、また申し訳ない気持ちも持つわけであります。

また、若い職員の中でも共働きをされておられるということで、自らの職務上のポジションの中で悩まれ、苦しまれ、そして結果として夫婦のどちらかが辞められるという決断をされておられる職員の方もおられます。私、任命権者として、大変その点を責任を感じておるところでもございます。

そのような状況が今ある中で、組織全体として人事刷新を図っていかねばいけないことも、これは紛れもない事実であります。その中で今回ひとつの組織の柱として、特命というものを重要視する中で、組織編成を行っているわけでありますが、それぞれ部長さんの中におかれましては、これまでの経験や能力を活かしていただき、特命の中でまた力を発揮していただけるような、ご協力がいただければと、思います。

また、今後であります、58歳というものをひとつの目安としながら勧奨退職制度というものを進めていければと、ということでまた部長さんそれぞれのご意見も伺いながら、今後その方向を目指していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

質疑

社会福祉協議会から職員が戻ることになるが、誰が戻るかかわからないか？

未定である。

(5) その他

アウトソーシング推進指針に関する説明会について

12月に策定されたアウトソーシング推進指針について、現場の担当者である主査級以下の職員を対象として、自らの仕事を見直し、行政改革を劇的に進める手段として活用してもらえよう開催するものです。日程は未定です。

以上